

せい しょ
わたしの 聖書



文/クリスティーナ・グディングス 絵/エミリー・ポーラム 訳/女子パウロ会

せいしょ

聖書って？

聖書は、ずっとむかしからつたえられ、語られてきたすてきな話を集めた本です。

この世界は、どのようにしてできたのか、

人間は、よいおこないをして神さまのともだちになろうとしましたけれど、まちがいをしてしまったこと、

そして、イエスさまが教えてくださった、「どうしたら、みんなが、いつも神さまのともだちでいられるか」ということなどが書いてあるのです。



はじめに

はじめに、神さまだけがいらっちゃって、ほかには何もなかったのです。まっくらでした。

神さまが、「光があるように」とおっしゃると、火のように、ダイヤモンドのように、光がかがやきました。神さまは、広くて青い空と、ふかい海をつくられました。陸地にはよい土があり、そこからたねがめばえて、植物が育ちました。

黄金のような太陽、銀のような月、夜をかがやかせるたくさんの星。魚も鳥も動物も——大きいもの、小さいもの、ゆかいなものも、おそろしそうなものも——。

さいごに、神さまは、男の人アダムと女の人エバをつくっておっしゃいました。「この世界はあなたたちのもの。大切にしてくれ。」ぜんぶつくってから、神さまは1日お休みになりました。



すてきな庭^{にあ}

神さまは、アダムとエバのために、すてきな庭をじゅんげしておっしゃいました。

「ごらん、どの木の実も食べていいよ。でも、たったひとつ、あのまんなかにある木の実だけは食べないで。食べると、あなたたちによくないことが起きるからね。」

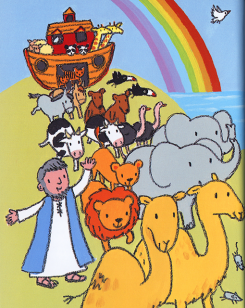
あとで、エバがひとりしていると、へびがやってきていいました。「神さまは、ほんとのことをおっしゃらなかったね。あれを食べると、すごくりこうになって、なんでもわかるようになるんだけどな。」

そこで、エバはアダムに話し、ふたりでその木の実を食べてしまったのです。とたんに、ふたりははずかしくなって、神さまがいらっしゃるとかくれてしまいました。神さまはかなしそうにおっしゃいました。

「もうここから出ていってもらわなければ、外の生活はきびしいよ。」

そのとおりでした。でも、いちばんわるいことは、もう神さまのともだちでいられなくなったことでした。





おみず ノアと大水

人間はしだいにふえて、わるいことばかりするようになりましたが、ノアだけはいい人でした。

神さまがノアにおっしゃいました。「大きな箱船をつくりなさい。それにあなたの家族と、動物を2ひきずつ集めるのだ。」

ノアがいわれたとおりにすると、雨がふりだし、どんどんふって、大水となり、箱船の外からはみんな水にのまれてしまいました。

何日もたって、やっと雨はやみ、水が少しずつ引きはじめました。神さまがおっしゃいました。

「ノアよ、外に出なさい。もういちど、世界をはじめるときだ。空のにじをごらん。夏が来て、冬が来る。たねまきのときと、かり入れのときが来る。わたしがやくそくする。」

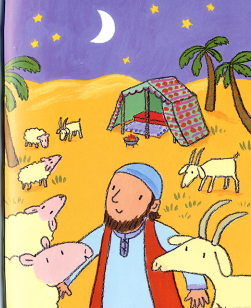


アブラハムと夜の空

アブラハムはテントの外に出て、ひつじや、やぎのむれを見まもっていました。しずかで、平和な夜でした。アブラハムはつぶやきました。「わたしはたくさんのもと、かちくを持っている。カナンには家もあるし、よいつまもいる。でも、つまのサラとわたしにはこどもがない。」

神さまのお声がしました。「空の星をごらん。数えられるかな？ あなたには男の子が生まれ、子孫はあの星のようにたくさんになる。」

やがて、神さまのやくそくどおり、アブラハムとサラには男の子が生まれ、ふたりはその子にイサクとなまえをつけました。



きょうだい ヨセフと兄弟たち

ヨセフはイサクの孫です。おおぜいの兄弟のなかで、お父さんのヤコブからいちばんかわいがられて、とくべつにきれいなコートもつくってもらいました。兄弟たちはおもしろくありません。エジプトに行く商人たちに、ヨセフをどれいとして売ってしまったのです。お父さんには、弟はけものに食われたらしいといいました。

エジプトで神さまはヨセフを助けて、ゆめのいみを知る力をさずけてくださったので、ヨセフはとてもえらい人になりました。

何年かたって、カナンに食べ物がたりなくなったとき、兄弟さんたちがエジプトに買い出しにいくと、ヨセフは兄弟さんたちをゆるしてやっただけでなく、いいました。

「ここには、食べ物がじゅうぶんあります。お父さんとわたしの弟、ベニヤミンもみんないっしょに、ここにきてくらしなさい。」

エジプトに行ったこの家族は、いつからかイスラエル人とよばれるようになりました。

どれい—むかし、自由をうばわれ、売買されたり、労働に使われた人。

